

開催日	テーマ	技術分野	講師、演題
2008年5月9日	“未来へのバイオ技術”勉強会「iPS細胞などヒト幹細胞創製・応用にかかわる技術」	医療、医薬	「iPS細胞を創るナノテクの可能性」 三宅 淳氏(産総研・セルエンジニアリング研究部門長／東大院・教授) 「遺伝子導入によるヒト間葉系幹細胞の活性化」 大串 始氏(産総研・主幹研究員) 「細胞の非侵襲計測、操作技術」 一木 隆範氏(東大院・准教授) 「ナノサージェリーによるiPS細胞の創製へ」 中村 史氏(産総研／東京農工大・客員准教授)
2008年6月24日	“未来へのバイオ技術”勉強会「メタル・バイオ・リサイクル～稀少金属の生物回収システム開発～」	環境・ものづくり	「光合成細菌による放射性物質の回収・除去 — 劣化ウラン弾による汚染土壌の浄化をめざして」 佐々木 健氏(広島国際学院大・教授) 「バイオ・アミング技術の広汎な展開 —レアメタル等有用金属回収による資源化と環境浄化も視野に—」 植田 充美氏(京大院・教授)
2008年7月24日	“未来へのバイオ技術”勉強会「二酸化炭素を「使う」技術と「貯蔵する」技術」	環境・ものづくり	「光合成をフル回転させる New Green Revolution～炭素固定酵素RuBisCOの高活性化」 横田 明穂氏(奈良先端大・教授) 「CO2回収・地中貯留(CCS)技術の現状と展望」 伊東 明人氏(地球環境産業技術研究機構・主席研究員)
2008年8月25日	“未来へのバイオ技術”勉強会「ペプチドワクチン 近年の進展」	医療、医薬	「がんペプチド免疫療法 ～サバイピン2Bががんワクチンを中心に～」 佐藤 昇志氏(札幌医大院・教授) 「癌細胞免疫回避機構とその克服」 河上 裕氏(慶大・先端医科学研究所長)
2008年9月17日	“未来へのバイオ技術”勉強会「新発想バイオものづくり技術開発」	環境・ものづくり	「熱可逆反応を利用したバイオベースポリマーの機能化」 吉江 尚子氏(東大・准教授) 「バイオリファイナリーを取り巻く世界の状況とRITEの研究開発」 湯川 英明氏(地球環境産業技術研究機構・微生物研究グループ・室長)
2008年10月30日	“未来へのバイオ技術”勉強会「カーボンナノチューブ ～バイオから宇宙まで～」	基礎・基盤	「カーボンナノチューブ 機能と成功に向けた安全性」 遠藤 守信氏(信州大・教授)
2008年11月20日	“未来へのバイオ技術”勉強会「健康バイオマーカー、心と栄養」	ヘルスケア	「健康産業の創出をめざして」 国分 友邦氏(産総研・健康工学研究センター長) 「社会・心理学的ストレスのバイオマーカーとその応用」 六反 一仁氏(徳島大院・教授) 「栄養科学からみたこころの健康増進について」 武田 英二氏(徳島大院・教授)
2008年12月1日	“未来へのバイオ技術”勉強会「次世代シーケンサーがもたらす新しいバイオの世界」	基礎・基盤	「次世代シーケンサーの最前線と沖縄のポテンシャル」 具志堅 清明氏(沖縄県企画部・科学振興班長) 「ギガシーケンサーのインパクト 知識資源競争」 平野 隆氏(産総研・主幹研究員)

2009年1月14日	“未来へのバイオ技術”勉強会「非侵襲バイオ計測技術の展望」	基礎・基盤	「非線形ラマン分光法による非染色・マルチカラー生体計測 ～分子レベルから生体組織まで～」 加納 英明氏(東大院・准教授) 「テラヘルツ波の産業応用～ テラヘルツ波発生装置、イメージング、解析装置、医工学応用」 伊藤 弘昌氏(理研・テラフォトニクス研究チームリーダー)
2009年2月19日	“未来へのバイオ技術”勉強会「ヒト外挿モデル～疾患モデル動物研究の現状と展望」	医療、医薬	「痒みマウスモデルの応用～痒みの機序解明と鎮痒薬の開発戦略」 倉石 泰氏(富山大・医学薬学・教授) 「疾患モデル動物研究の現状と展望～創薬に向けた病態解析、遺伝子解析」 野村 大成氏(医薬基盤研・疾患モデル動物研究プロジェクトリーダー)
2009年3月13日	“未来へのバイオ技術”勉強会「光を利用するものづくりバイオ技術の展望」	環境・ものづくり	「光に依存した新規ニトロゲナーゼ創出の可能性」 藤田 祐一氏(名大院・准教授) 「光合成研究の現状と展望 - シアノバクテリアの酸素発生系を中心に」 三室 守氏(京大院・教授)
2009年4月23日	“未来へのバイオ技術”勉強会「抗肥満(メタボリックシンドローム)への挑戦」	食料・機能的食品	「抗メタボリックシンドロームの新たな標的 SREBP 活性抑制機構の解明」 佐藤 隆一郎氏(東大院・教授) 「生活習慣病を予防・改善する食品・医薬品素材の探索と応用研究」 河田 照雄氏(京大院・教授)
2009年5月21日	“未来へのバイオ技術”勉強会「体内の状態をモニターする」	基礎・基盤	「口腔内留置型血糖値連続モニタリングシステム開発」 村上 裕二氏(広島大・特任准教授) 「光れ！がん細胞～リアルタイム超微小がん診断蛍光プローブ」 浦野 泰照氏(東大院・准教授)
2009年6月24日	“未来へのバイオ技術”勉強会「皮膚と免疫の科学」	医療、医薬	「乾癬のゲノムワイド解析」 岡 晃氏(東海大・講師) 「皮膚における自然免疫 ～基礎からアレルギー性疾患治療の展望まで～」 佐山 浩二氏(愛媛大・准教授)
2009年7月28日	“未来へのバイオ技術”勉強会「健康の未来予想図」	食料・機能的食品	「科学的根拠に基づいた健康食品開発」 吉川 敏一氏(京都府医大・教授)
2009年8月3日	“未来へのバイオ技術”勉強会「燃える氷・メタンハイドレートとバイオテクノロジー」	環境・ものづくり	「メタンハイドレート資源開発におけるバイオテクノロジーの貢献～微生物遺伝子マーカーの探索と利用」 吉田 光毅氏(エンジニアリング振興協会・大成建設分室) 「マイクロ流体デバイスを応用した現場型微生物遺伝子解析装置ISA-Geneの開発と展望」 藤井 輝夫氏(東大・教授) 「科学掘削による海底下炭化水素循環システムの実証とエネルギー利活用について」 稲垣 史生氏(海洋研究開発機構・上席研究員)
2009年9月16日	“未来へのバイオ技術”勉強会「マススペクトロメトリーの応用展開～生命分子機構に迫るMS“本音トーク”」	基礎・基盤	「イメージングマススペクトロメトリー(IMS)の医学研究への応用」 中西 豊文氏(大阪医大・准教授) 「1細胞リアルタイム分子分析法による超速バイオ解析」 升島 努氏(広島大院・教授)

2009年10月29日	“未来へのバイオ技術”勉強会「植物エピジェネティクスの応用展開」	基礎・基盤	「アブラナの自他認識機構 ～DNAメチル化の役割～」 柴 博史氏(奈良先端大・助教) 「シロイヌナズナのエピジェネティックな遺伝子制御」 角谷 徹仁氏(国立遺伝学研・教授)
2009年11月5日	“未来へのバイオ技術”勉強会「最古の真核生物「シゾン」に学ぶ—生命の基本原理の解明から新産業への牽引—」	基礎・基盤	「極限環境(高温、強酸性、乾燥等)に棲息する最古の真核生物「シゾン」に学ぶ —生命の基本原理の解明から新産業への牽引—」 黒岩 常祥氏(立教大・極限生命情報研究センター長) 「パラサイト・シグナルの発見と展望～生命現象の全体像に迫る」 田中 寛氏(千葉大院・教授)
2009年12月16日	“未来へのバイオ技術”勉強会「生体に学ぶイノベーション ～ものづくり、環境、デザイン」	環境・ものづくり	「微生物のシリコンバイオサイエンスとテクノロジー」 黒田 章夫氏(広島大院・教授) 「生物のように複雑で美しい結晶をデザインする～Learning from Biominerals」 今井 宏明氏(慶大・教授)
2010年1月8日	“未来へのバイオ技術”勉強会「核酸医薬DDSは何処まで来たか in 大阪」	医療・医薬	「核酸医薬のターゲティングDDS開発の現状」 川上 茂氏(京大院・講師) 「核酸医薬DDSの課題と展望」 岡田 弘晃氏(東京薬科大・教授)
2010年2月16日	“未来へのバイオ技術”勉強会「花粉症と闘う！」	食料・機能的食品	「べにふうきとサンルージュ ～お茶の機能的成分を製品開発に生かす」 山本(前田)万里氏(農研機構・野菜茶業研究所・研究チーム長) 「乳酸菌KW3110株のアレルギー改善作用メカニズム～動物モデルでの検討と商品への活用」 飯野 久和氏(昭和女子大院・教授)
2010年3月25日	“未来へのバイオ技術”勉強会「核酸医薬DDSは何処まで来たか 第2回」	医療・医薬	「核酸医薬のターゲティングDDS開発の現状」 川上 茂氏(京大院・講師) 「核酸医薬DDSの課題と展望」 岡田 弘晃氏(東京薬科大・教授)
2010年4月20日	“未来へのバイオ技術”勉強会「省エネ型生物的炭素固定 ～温室効果ガス排出削減とバイオマス増産のためのグリーンイノベーション～」	環境・ものづくり	【協同企画:新資源生物変換研究会】 「省エネ型炭素固定に有用なC1微生物機能」 阪井 康能氏(京大院・教授) 「省エネ型炭素固定を可能とする植物をデザインする」 佐藤 文彦氏(京大院・教授)

2010年5月10日	“未来へのバイオ技術”勉強会「非襲侵性薬物投与が開く未来創薬」	医療、医薬	<p>「マイクロドーズ臨床試験による医薬品開発の成功確率の上昇」 杉山 雄一氏(東大院・教授) 「細胞透過性ペプチドを用いたインスリンの非注射剤の開発」 森下 真莉子氏(星薬科大・准教授) 「ナノ粒子含有マイクロスフェアを用いた薬物デリバリー戦略」 尾関 哲也氏(名古屋市大院・教授)</p>
2010年6月23日	“未来へのバイオ技術”勉強会「省エネ型生物的炭素固定 第2回～温室効果ガス排出削減とバイオマス増産のためのグリーンイノベーション～」	環境・ものづくり	<p>【協同企画:新資源生物変換研究会】 「独立栄養微生物の炭素、エネルギー代謝研究からみえること」 石井 正治氏(東大院・准教授) 「ケミカルバイオロジーと炭素固定」 浅見 忠男氏(東大院・教授)</p>
2010年6月30日	“未来へのバイオ技術”勉強会「微細藻バイオマスブームはどう終わるのか」	環境・ものづくり	<p>「シュードコリスティスを用いた油脂生産実用化の問題点」 原山 重明氏(中央大学生命科学科 教授) 「微細藻類バイオマスブームをブームで終わらさないための視点～多様な微細藻類の特性と本質を見直す」 都筑 幹夫氏(東京薬科大・教授) 「石油を作る緑藻－藻類から簡単に炭化水素を回収する」 岡田 茂氏(東大院・准教授)</p>
2010年7月1日	“未来へのバイオ技術”勉強会「ホップをきわめる」	食料・機能的食品	<p>【協同企画:ビール酒造組合、JBAアルコール・バイオマス研究会】 「ビール苦味成分のメタボリックシンドローム改善作用」 矢島 宏昭氏(キリンホールディングス・健康・機能的食品事業推進プロジェクト) 「ホップ水抽出物のアレルギー抑制効果」 瀬川 修一氏(サッポロビール・価値創造フロンティア研究所) 「ホップ成分の薬理作用－GABA受容体活性化作用を中心として－」 好田 裕史氏(サントリーホールディングス・R&D企画部) 「ビールの微生物的安定性におけるホップの役割とビール混濁性乳酸菌のホップ耐性機構」 飯島 和丸氏(アサヒビール・酒類技術研究所) パネルディスカッション形式の総合討論と質疑応答 司会:佐藤 充克氏(山梨大院・特任教授)</p>
2010年8月27日	“未来へのバイオ技術”勉強会「未来発酵技術の基盤研究 微生物ゲノム工学の実用化—ミニマムゲノムファクトリー」	環境・ものづくり	<p>「日本の発酵技術のルネサンス:ミニマムゲノムファクトリーコンセプト」 穴澤 秀治氏(バイオインダストリー協会・事業企画部長) 「分裂酵母Intelligent Genome Factory:未来型の宿主細胞創製に向けて」 東田 英毅氏(旭硝子株式会社 ASPEX事業部) 「未来を拓く枯草菌Refined Genome Factory」 荒 勝俊氏 (花王(株)生物科学研究所 MGPプロジェクト PL) 「次世代型細胞工場の展開—大腸菌Designed Genome Factory」 森 英郎氏(協和発酵キリン株式会社 東京リサーチパーク)</p>

2010年10月4日	“未来へのバイオ技術”勉強会「シンプルバイオ」	環境・ものづくり	「シンプルバイオ-バイオプロセスの無駄を徹底的に省く新しいバイオプロセス技術-」 大竹久夫氏(阪大院・教授) 「超好熱菌の解剖」 今中忠行氏(立命館大・教授)
2010年10月26日	“未来へのバイオ技術”勉強会「頼りになる脳機能・分子イメージング評価法 - 創薬・機能性食品開発を目指して - in 大阪」	基礎・基盤	「fMRI, MEG, PETを用いた疲労の脳科学」 田中 雅彰氏(大阪市大院・講師) 「PET分子イメージングを活用した革新的創薬・食品開発プロセス」 渡辺 恭良氏(理研・分子イメージング科学研究センター長)
2010年11月25日	“未来へのバイオ技術”勉強会「新しい溶媒(イオン液体/超臨界流体)で生体分子を扱う」	基礎・基盤	「イオン液体のバイオサイエンスへの展開-酵素反応、タンパク質可溶化、セルロース溶解、バイオ燃料電池、アミノ酸由来イオン液体-」 大野 弘幸氏(東農工大・教授) 「超臨界流体によるバイオマスの化学変換 - バイオエタノール、バイオディーゼル、バイオプラスチック、バイオケミカルスなどの生産 -」 坂 志朗氏(京大院・教授)
2010年12月20日	“未来へのバイオ技術”勉強会「文部科学省委託事業「ターゲットタンパク研究プログラム」勉強会 匂い・フェロモン研究の最先端と応用展開」	基礎・基盤	「マウスのフェロモン:受容体から脳まで」 東原和成氏(東大院・教授) 「蛾の性フェロモン産生の人為的制御をめざして」 永田宏次氏(東大院・准教授)
2011年1月20日	“未来へのバイオ技術”勉強会「バイオと元素戦略」	環境・ものづくり	「フッ素資源の環境持続的環境系構築を目指して」 北爪 智哉氏(東工大院・教授) 「新しいグリーン産業としてのリン資源のリサイクル」 大竹 久夫氏(阪大院・教授) 「都市鉱山からのインジウム、白金族金属のバイオ回収に挑戦」 小西 康裕氏(大阪府大院・教授)
2011年2月15日	“未来へのバイオ技術”勉強会「時間生物学～基礎研究から創薬まで」	基礎・基盤	「「時間」の生命科学」 上田 泰己氏((独)理化学研究所・プロジェクトリーダー) 「ヒトの体内時計測定法と投薬・治療への応用可能性」 明石 真氏(山口大・時間学研・教授) 「ストレス性睡眠リズム障害モデルマウスとその利用の可能性」 宮崎 歴氏((独)産総研・主任研究員)

2011年3月1日	“未来へのバイオ技術”勉強会「発酵食品の底力～日本古来の発酵の力を美味しく学ぶひな祭り特別企画～」	食料・機能性食品	「微生物学から見た発酵醸造食品研究」石井正治氏(東大院・准教授) 「乳酸菌の機能性研究と食品への利用」 篠田 直氏(カルピス(株)発酵応用研究所 統括マネージャ) 「日本酒で美味しく健やかに～日本酒、酒粕、甘酒の機能を生かす」 堤 浩子氏(月桂冠総合研究所 副主任研究員) 「微生物による脂質バランス栄養食品素材の生産」 小川 順氏(京大院・教授)
2011年5月16日	“未来へのバイオ技術”勉強会「文部科学省革新的細胞解析研究プログラム「セルイノベーション」勉強会 第1回 セルイノベーションと現代疾患」	基礎・基盤	「神経細胞機能に着目した、ミトコンドリア呼吸鎖異常を起こす遺伝子変異の系統的な探索」 岡崎康司氏(埼玉医科大学 ゲノム医学研究センター) 「網羅的スプライシング暗号解析に基づくRNA病の解明と治療技術の探索」 萩原正敏氏(京都大学大学院医学研究科形態形成制御学教室) 「肺がん原因遺伝子の発見と治療への展開」 間野博行氏(自治医科大学ゲノム機能研究部・東京大学大学院医学系研究科 ゲノム医学講座)
2011年5月23日	“未来へのバイオ技術”勉強会「文部科学省革新的細胞解析研究プログラム「セルイノベーション」勉強会 第2回 セルイノベーションデータ解析拠点における研究動向」	基礎・基盤	「セルイノベーションの全体像」 菅野 純夫氏(東京大学大学院新領域創成科学研究科 プログラムオフィサー) 「データ解析拠点の構築と情報研究開発」 五條堀 孝氏(情報システム研究機構 国立遺伝学研究所) 「オミックス統合解析による高精度センシング技術の開発および、イメージ解析のアノテーションDB構築への対応」 豊田 哲郎氏(理化学研究所生命情報基盤研究部門)
第39回(2011年5月31日)	“未来へのバイオ技術”勉強会「メタボロミクス」	基礎・基盤	◆オーガナイザー:福崎英一郎氏(大阪大学工学研究科) 共催:日本生物工学会メタボロミクス研究部会、JBA新資源生物変換研究会 於:大阪大学吹田キャンパス工学研究科サントリーメモリアルホール 「メタボロミクスで描くバイオ産業の未来」 大橋 由明氏(ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ(株) 取締役) 「CE-MSメタボロミクスが解き明かす生命科学」 曾我 朋義氏(慶應義塾大学 先端生命科学研究所 教授) 「メタボリックプロファイリングの精密表現型解析への応用」 福崎 英一郎氏(大阪大学大学院工学研究科 教授)
2011年6月9日	“未来へのバイオ技術”勉強会「文部科学省委託事業「ターゲットタンパク研究プログラム」第3回勉強会 復興への鍵を握る食品、環境への産業応用」	基礎・基盤	◆オーガナイザー:中島 春紫氏(明治大学農学部 教授) 「花咲かホルモン(フロリゲン)を利用して植物を改造する」 島本 功氏(奈良先端大バイオサイエンス研究科) 「新規炭酸固定系を構成する酵素群の構造機能解析と機能改良」 跡見晴幸氏(京大院工・合成生化)、今中忠行氏(立命館大生命科学・生物工学)、三木邦夫氏(京大院理・化学) 「乾燥耐性作物の育種をめざして」 田之倉優氏(東京大学大学院農学生命科学研究科) 「微生物由来多糖分解酵素の構造と機能」 橋本 渉氏、三上文三氏、村田幸作氏(京都大学農学研究科)

2011年6月23日	“未来へのバイオ技術”勉強会「バイオで浄化 ～大気・水・土壌を植物・膜・光合成細菌で浄化する」	環境・ものづくり	<p>【協賛:(株)化学同人】</p> <p>「環境浄化植物「サンパチェンス」の浄化能力と実践、および機能性植物資源探索」 小杉波留夫氏(サカタのタネ 花統括部) 鴨川知弘氏(サカタのタネ 研究本部遺伝資源室) 「光合成細菌成分による放射性核種の除去と海水の浄化」 佐々木健氏(広島国際学院大学大学院工学研究科 教授) 「RO膜法による海水淡水化処理と都市下水の再生処理による飲料水や工業用純水製造プラントへの適用」 岩堀 博氏(日東電工(株)) 「植物が重金属を蓄積するメカニズムを解明する～汚染土壌の浄化を目指して」 保倉明子氏(東京電機大学環境化学科 准教授)</p>
2011年7月11日	“未来へのバイオ技術”勉強会「文部科学省革新的細胞解析研究プログラム「セルイノベーション」勉強会 第3回 セルイノベーションの次世代シーケンサー拠点」	基礎・基盤	<p>於:(独)理化学研究所横浜研究所中央棟C212 「セルイノベーションの次世代シーケンサー拠点」 林崎良英氏(オミックス基盤研究領域 領域長) 「次世代シーケンサーとシーケンス拠点」 河合 純氏(理化学研究所オミックス基盤研究領域(シーケンス拠点)) ◆シーケンス拠点ラボツアー 「シーケンスライブラリを作製する自動化技術(一分子シーケンサーのためのCAGEライブラリ)」 伊藤昌可氏(理化学研究所オミックス基盤研究領域 LSA要素技術開発グループ)</p>
2011年7月25日	“未来へのバイオ技術”勉強会「バイオと元素戦略2 ～震災で見直されるベースメタル供給とバイオテクノロジー」	環境・ものづくり	<p>【協賛:(株)化学同人】</p> <p>「バイオマイニング技術を用いた低品位硫化銅鉱の湿式製錬プロセス開発」 三浦 彰氏(JX日鉱日石金属株式会社 技術開発センター 資源グループ グループ長) 「海底熱水鉱床鉱石のバイオリッチング」 須藤孝一氏(東北大学大学院環境科学研究科 准教授) 「ナノジオサイエンスからみたヒ素含有銅鉱石のバイオリッチング」 笹木圭子氏(九州大学大学院工学研究院 地球資源システム工学部門 教授)</p>
2011年8月29日	“未来へのバイオ技術”勉強会「塩害対策とバイオテクノロジー」	環境・ものづくり	<p>【協賛:公益社団法人 日本生物工学会】</p> <p>「佐賀大学発アイスプラント「バラフ」の塩類土壌修復作用と商品開発」 野瀬昭博氏(佐賀大学農学部 熱帯作物改良学研究室 教授) 「塩生植物の耐塩性関連遺伝子を利用した植物の耐塩性強化技術の開発」 山田晃世氏(東京農工大学工学研究院生命機能科学部門准教授) 「物理的な除塩法による塩害農地の修復」 猪迫耕二氏(鳥取大学農学部生物資源環境学科 准教授)</p>

2011年9月14日	“未来へのバイオ技術”勉強会「放射線障害予防とバイオサイエンス」	環境・ものづくり	<p>【協賛：(株)化学同人】</p> <p>◆オーガナイザー：佐治英郎氏(京都大学大学院薬学研究科 教授) 「放射線防護剤、障害治療剤および放射性物質排出促進剤研究の現状」</p> <p>石原 弘氏(放射線医学総合研究所緊急被ばく医療研究センター・体内汚染治療室 室長) 「福島の放射線環境と将来における放射線の影響リスク」</p> <p>松田尚樹氏(長崎大学先端生命科学研究支援センター教授)</p>
2011年10月11日	“未来へのバイオ技術”勉強会「～東京大学創薬オープンイノベーションセンター見学と講演会～大規模化合物ライブラリーをオールジャパンの創薬研究に生かす！(文部科学省委託事業「ターゲットタンパク研究プログラム」第4回)」	医療、医薬	<p>於：東京大学創薬オープンイノベーションセンター</p> <p>◆オーガナイザー：植田弘師氏(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授) 「アカデミア創薬研究の幕開け」</p> <p>長野哲雄氏(東京大学大学院薬学系研究科長 東京大学創薬オープンイノベーションセンター長) 「核酸およびレドックス調節パスウェイを標的とする抗寄生虫薬の開発」</p> <p>原田繁春氏(京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科 教授) 「創薬イノベーションセンター利用説明」</p> <p>小島宏建氏(東京大学創薬オープンイノベーションセンター特任准教授)</p> <p>◆見学会</p>
2011年10月24日	“未来へのバイオ技術”勉強会「テラヘルツ技術研究の夢と将来展望～講演と(独)情報通信研究機構見学会」	基礎・基盤	<p>於：(独)情報通信研究機構(NICT)小金井本部 3号館1F会議室</p> <p>◆オーガナイザー：大川 令氏(早稲田大学環境総合研究センター 招聘研究員) 「宇宙やリモートセンシング、医療、イメージングなど幅広い応用が可能なテラヘルツセンシング技術」</p> <p>竇迫 巖氏(未来ICT研究所 副所長 超高周波 ICT研究室室長(兼務)) 「テラヘルツ波が拓く夢の仕事～文化財の非破壊調査を中心に」</p> <p>福永 香氏(電磁波計測研究所 電磁環境研究室 研究マネージャー)</p> <p>◆見学：NICT小金井本部テラヘルツ量子カスケードレーザー 他</p>
2011年11月8日	“未来へのバイオ技術”勉強会「免疫寛容のしくみと応用」	医療、医薬	<p>◆オーガナイザー：佐々義子氏(くらしとバイオプラザ21主席研究員) 「オープニング：花粉症治療米に期待する」</p> <p>佐々義子氏 「花粉症緩和米とは」</p> <p>高岩文雄氏((独)農業生物資源研究所 遺伝子組換え研究センター機能性作物研究開発ユニット長) 「腸管免疫のしくみと応用」</p> <p>清野 宏氏(東京大学医科学研究所炎症免疫学分野教授) 「マウスの経口免疫寛容の分子作用機構～画期的な食物アレルギー治療の可能性へ」</p> <p>佐藤克明氏((独)理化学研究所 免疫・アレルギー科学総合研究センター樹状細胞機能研究チーム チームリーダー)</p>

2011年11月14日	“未来へのバイオ技術”勉強会「文部科学省革新的細胞解析研究プログラム「セルイノベーション」勉強会第4回セルイノベーションにおける革新的研究」	基礎・基盤	「次世代シーケンサーによる性ホルモン標的分子の探索とそのがんにおける役割」 井上 聡氏(東京大学大学院医学系研究科抗加齢医学講座 埼玉医科大学ゲノム医学研究センター遺伝情報制御部門) 「簡便な作成と安定発現が可能となったFRETバイオセンサーは何をもたらすか？」 松田 道行氏(京都大学大学院 生命科学研究科 高次生命科学専攻認知情報学講座 生体制御学分野) 「初期発生における雌雄染色体動態制御」 白髭 克彦氏(東京大学分子細胞生物学研究所 教授)
2011年12月2日	“未来へのバイオ技術”勉強会「高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所 見学と講演会 構造生物学研究の解析拠点はここだ！(文部科学省委託事業「ターゲットタンパク研究プログラム」第5回)」	基礎・基盤	於:高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所 構造生物学研究センター 「高難度タンパク質をターゲットとした構造生物学の現状と展望」 若槻 壮市氏(高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所構造生物学研究センター センター長) 「抗マラリア新薬の開発を目指して」 田中信忠氏(昭和大学薬学部分析センター 准教授) ◆見学会
2011年12月5日	“未来へのバイオ技術”勉強会「放射性診断薬開発と個別化医療～腫瘍と脳の診断を中心に」	医療、医薬	「放射性医薬品の開発・体内動態制御と個別化医療」 川井 恵一氏(金沢大学医薬保健研究域保健学系 量子医療技術学講座 教授) 「アミロイド診断薬の開発現状とアミロイドイメージングによる脳の診断」 石井 賢二氏(地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 附属診療所・神経画像研究チーム)
2011年12月9日	“未来へのバイオ技術”勉強会「独立行政法人理化学研究所 NMR施設 見学と講演会 ～生命システムの解明から創薬シーズの提案まで～(文部科学省委託事業「ターゲットタンパク研究プログラム」第6回)」	基礎・基盤	於: 独立行政法人理化学研究所 横浜研究所 NMR施設 「生命システムの解明から産業応用まで」 横山茂之氏(理化学研究所 横浜研究所 生命分子システム基盤研究領域 領域長) 「無細胞タンパク質合成システムを用いた超分子複合体(V1-ATPase)の発現精製と構造解析」 村田武士氏(千葉大学大学院理学研究科 特任准教授) 「NMR施設の外部解放事業の利用方法について」 手嶋 孝氏(理化学研究所 横浜研究所 研究推進部 課長代理) ◆見学会
2011年12月13日	“未来へのバイオ技術”勉強会「美白にまつわるエトセトラ」	環境・ものづくり	「美白はどこへ向かうのかー国内外化粧品メーカーの動向、アジア市場を踏まえた戦略」 浅井潤司氏((株)矢野経済研究所ファッション・スポーツリテール事業部 主任研究員) 「異なる作用メカニズムをもつ美白剤の開発」 井上紳太郎氏((株)カネボウ化粧品 執行役員) 「チロシナーゼの三次元構造と酒粕由来のチロシナーゼ阻害剤」 的場康幸氏(広島大学大学院医歯薬学総合研究科創生医科学専攻 遺伝子制御科学研究室准教授)

2012年2月6日	“未来へのバイオ技術”勉強会「食総研は宝の山(第1回)」	食料・機能性食品	司会・オーガナイザー 長島 實氏(食品総合研究所 顧問) 「食の科学技術－頭で食べより健康に」 林 清氏(食品総合研究所 所長) 「機能性は食べなければわからない?－抗アレルギー機能を検索できる実験系確立をめざして－」 後藤真生氏(食品機能研究領域 機能性成分解析ユニット) 「DNAマイクロアレイを用いた機能性評価－生活習慣病軽減及びアレルギー・炎症抑制効果の評価－」 小堀真珠子氏(食品機能研究領域 機能性評価技術ユニット) 「フィトエストロゲン腸内代謝を向上するアンチエイジング食品素材」 田村 基氏(食品機能研究領域 機能生理評価ユニット) 「抗酸化能評価法の標準化 ORAC法の開発現状と今後の展望」 渡辺 純氏(食品機能研究領域 機能性生分解析ユニット)
2012年3月22日	“未来へのバイオ技術”勉強会「寝たきりにならないバイオ:ロコモ対応食品の真価」	食料・機能性食品	「ロコモ対応食品の科学的エビデンスを評価する～コラーゲンは食べて効くのか」 野村義宏氏(東京農工大学農学部附属硬蛋白質利用研究施設 准教授) 「グルコサミン含有食品は軟骨代謝を改善して膝関節痛を和らげる」 長岡 功氏(順天堂大学医学部 生化学・生体防御学講座 教授)